

# 京都・丹後まるごとアイデアソン※1

## アイデア募集要綱

### 1 趣旨

あなたのアイデアで丹後地域のものづくり産業を盛り上げる新たな事業を一緒につくりませんか！

丹後地域※2では、織物業、機械金属業、観光業、農林水産業など、地域の特性を活かし、また、長年の歴史と伝統に培われた技術を活かした様々な産業が展開されています。

一方で、丹後地域は全国や京都府の平均を上回る少子高齢化が進行しており、地域の社会経済全般にわたり様々な影響を与えています。こうした中で、京都府では「ものづくり産業」などの地域産業について、新製品の開発や担い手の確保・育成により、地域産業の振興を進めてきたところです。

丹後地域の未来を築くため、まだまだ数多くある地域資源を活用した新製品や丹後地域に新たな価値を生み出すイノベーションのアイデアなど、地域のものづくり産業を盛り上げるあなたのアイデアを募集します。

(※1) アイデアソンとは、特定のテーマについて多様性のあるメンバーがアイデアを出し合い、それをまとめていく形式のワークショップです。

(※2) 当該事業における丹後地域は京都府丹後広域振興局管内の京丹後市、宮津市、伊根町、与謝野町を指しています。

### 2 募集テーマ

#### 『丹後地域のものづくり産業（機械金属業・織物業など）を盛り上げるアイデア』

丹後地域で産業化を想定したアイデアを幅広く募集します。

#### ① 丹後地域資源※3を活かしたものづくりのアイデア

丹後地域の特徴的な産業を活かした新しい発想

#### ② 丹後地域に新たなイノベーションを起こすものづくりのアイデア

あなたの考えるアイデアを活用して新しい価値を創造

- 例
- ・農林水産業の効率化・省力化を目指した機械技術の提案
  - ・おもてなし観光のための丹後ちりめんの利活用の提案
  - ・AI（人工知能）やICT（情報通信技術）を活用した実証実験の提案 など

(※3) 丹後地域資源の例（平成20年京丹後市知的資産経営報告書より）

①機械金属製品  
精密機械加工や  
半導体製造装置  
の関係企業が集  
積している。

②丹後ちりめん  
約300年もの長  
い間地域で守ら  
れ続けている。

③丹後産コシヒカリ  
食味最高ランク  
「特A」を通算12  
回獲得した。

④間人ガニ  
ズワイガニの中  
でも最高級のカ  
ニとして認知さ  
れている。

#### ⑤丹後人の気質

- ・決められたことはきっちりとかなす勤勉さ
- ・品質に対するこだわりと、そのために自身をも厳しく律する真摯さ
- ・産地をあげて取り組む結束力 など

(注) 丹後地域資源は有形（地場産品）・無形（気質など）を問いません。

### 3 応募資格

丹後地域に関心のある方ならどなたでも応募可能です。

法人格の有無やその組織の形態は問いません。個人及び企業、大学など誰でもご応募いただけます。

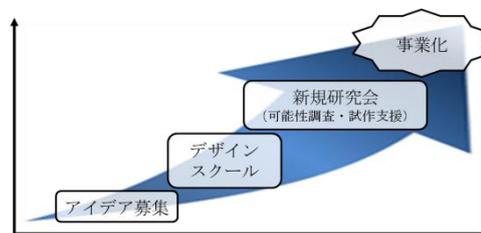
### 4 募集期間

平成 29 年 7 月 7 日（金）から 7 月 31 日（月）必着

### 5 応募方法

「京都・丹後まるごとアイデアソン応募用紙」を提出ください。

また、説明資料を A4 用紙 1 枚以内で追加できます。（自由様式）



### 6 審査方法

大学、地域事業者等で構成する意見聴取会にて選考を行います。

※審査の過程についてのお問い合わせは、お答えできませんのでご了承ください。

### 7 審査基準

次の要件を総合的に審査して選考いたします。

地域性	<ul style="list-style-type: none"><li>・丹後地域の産業振興に寄与するものか</li><li>・丹後地域資源を活用した新規産業もしくは丹後地域の産業にイノベーションを起こすアイデアであるか</li></ul>
独自性	<ul style="list-style-type: none"><li>・類似するアイデアや製品がないか。ある場合はどう差別化をしているか</li></ul>

### 8 審査結果

審査の結果は、平成 29 年 8 月上旬に応募者と事前調整の上、ホームページで発表します。

### 9 採用アイデアの事業化

採用されたアイデアは、産学公で構成された「丹後ものづくりデザインスクール」においてブラッシュアップし、事業化を検討します。

「丹後ものづくりデザインスクールの開催について」

概要：民間事業者や大学等多様なメンバーから幅広く意見を出し合い、採択されたアイデアのブラッシュアップを行います。

日時：平成 29 年 8 月下旬～9 月上旬（1泊2日）（予定）

場所：京都工芸繊維大学京丹後キャンパス地域連携センター（京丹後市網野町網野 3038 番地の 1）

## 1 0 権利規定・個人情報について

- (1) 応募いただいた個人情報は当該事業の目的以外には使用しません。
- (2) 応募内容の知的財産権等の権利は、応募者に帰属します。ただし、京都府が行うパブリシティへの掲載の権利は、京都府が有するものとします。
- (3) 公序良俗その他法令の定めに反するもの、誹謗中傷を含むもの、著作権その他第三者の権利を侵害しているもの、反社会的勢力の活動を助長する行為が判明した場合は審査の対象外となります。
- (4) 提出された資料は原則として返却いたしません。必要な場合は予め控えを残したうえでご応募ください。
- (5) 応募点数に制限はありません。ただし、応募は1テーマにつき応募用紙1部を提出してください。また、説明資料をA4用紙1枚以内で追加できます。

## 1 1 提出先・問い合わせ先等

「丹後まるごとアイデアソン応募用紙」の提出については、下記のいずれかの提出先に提出ください。別紙応募用紙は以下のホームページからダウンロードできます。また、下記の提出先でも応募用紙を配布しています。

### ■京都・丹後まるごとアイデアソンホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/sangyo-sien/news/ideathon.html>

提出先	京都府織物・機械金属振興センター企画連携課 〒627-0004 京都府京丹後市峰山町荒山 225 担当：西垣 <small>にしがき</small>	京都府商工労働観光部ものづくり振興課 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 担当：渡部 <small>わたなべ</small>
TEL/FAX	TEL:0772-62-7400 / FAX: 0772-62-5240	TEL:075-414-5106 / FAX:075-414-4842
E-mail	<a href="mailto:oriki-kikakurenkei@pref.kyoto.lg.jp">oriki-kikakurenkei@pref.kyoto.lg.jp</a>	<a href="mailto:monozukuri@pref.kyoto.lg.jp">monozukuri@pref.kyoto.lg.jp</a>
提出方法	郵送、FAX、電子メール、ご持参のいずれかの方法で提出ください。 ※電子メールで提出する際の件名は「京都・丹後まるごとアイデアソン提案書送付 応募者名」としてください。	

## 参考 丹後ものづくり産業の現状と課題

### 「丹後地域の概要」

丹後地域（宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町）は、京都府の最北部に位置し、東は舞鶴市、西は兵庫県豊岡市、南は福知山市に接し、面積は約 845 k m<sup>2</sup>と府全体（4,613 k m<sup>2</sup>）の約 18%を占めています。人口は 94,000 人と府全体の約 4%を占めており、過去 15 年間で約 20,000 人減少しています（図 1）。

丹後半島の東と西には、それぞれに砂嘴を持つ宮津湾と久美浜湾があり、南には大江山連峰、中央には丹後山地が連なり、その中央部を竹野川が流れています。由良海岸から久美浜湾に至る海岸線は変化に富み、天橋立、伊根湾、経ヶ岬、夕日ヶ浦など、様々な貴重な地質遺産を有し、東側は丹後天橋立大江山国定公園、西側は山陰海岸国立公園に指定されています。

また、自然環境保全地域の上世屋、内山のブナ林、鳴き砂で有名な琴引浜、日本の棚田百選に選ばれた袖志の棚田、更には各所に湧出する 170 を超える温泉など、自然景観に恵まれた地域です。

気候は四季の変化に富む日本海型気候で、夏は気温が高い日が続き、晩秋から冬にかけては「浦西」といわれる季節風とそれに伴う時雨現象で、不安定な天候となります。冬季には山間部では 1 m を超す積雪が見られることもあります。

こうした気候は生活に厳しさをもたらす一方、良質な水や適度な湿気が、米作りなど農林水産業や丹後ちりめんなどの織物業に対する恵みとなってきました。

丹後地域には観光・産業振興の基盤となる京都縦貫自動車道と山陰近畿自動車道があり、平成 27 年には京都縦貫自動車道は全線が開通し、京都府の北部地域と南部地域の連携強化を図り、京都府域全体の発展に貢献する道路として期待されています。

丹後地域の事業所数は 7,796 件（平成 26 年）であり、平成 13 年から約 3,000 件減少してしまいます（図 2）。産業分類別の就業比率は、第 1 次産業 8%、第 2 次産業 29%、第 3 次産業 63%となっていますが（図 3）、基幹産業である農林水産業、織物業、機械金属業など、第 1 次産業、第 2 次産業の比率が、他地域よりも高くなっています。

こうした中で、これまでに通算 11 回の特 A 評価を受けている丹後産コシヒカリやブランド京野菜、間人ガニや伊根ブリなど丹後地域ならではの食に加え、茶、丹後とり貝、丹後ぐじ、イワガキなど新たな農産物、水産物の生産等が始まるなど、「丹後・食の王国」と呼ぶのにふさわしい豊かな食に恵まれています。

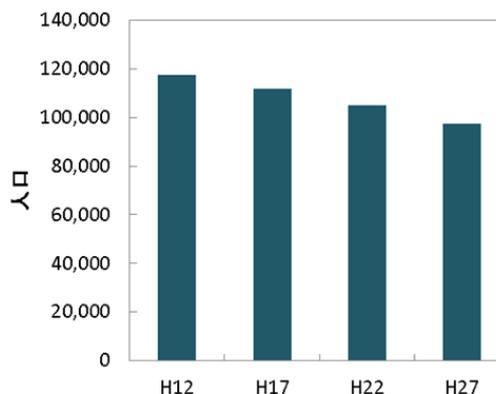


図 1 丹後地域の人口推移  
（国勢調査より）



山陰海岸ジオパークスポット「立岩」

また、丹後地域のものづくり産業として根付く織物業や機械金属業は、生活スタイルの変化や厳しい経済状況の中でも脈々と受け継がれており、こうした高い技術力をいかした製品開発など新たな産業発展につながる可能性も秘めています。

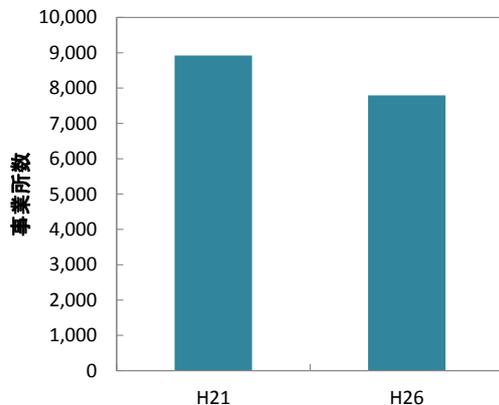


図2 丹後地域の事業所数推移  
(経済センサスより)

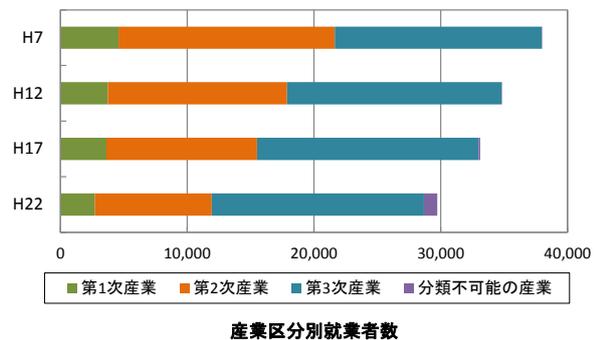


図3 京丹後市の産業構造推移  
(国勢調査より)

## 「中小企業等地域産業」

### (1) 機械金属業

精密型打鍛造・铸造素材加工、精密部品加工など機械金属業が集積し、着実に地域を支える産業として発展してきました。京都府では平成20年10月に、中小企業のための総合的な拠点となる「丹後・知恵のものづくりパーク」を開設し、府北部のものづくり人材の育成や新規産業の創出支援を行っています。また、京都工芸繊維大学では平成18年9月に、京丹後キャンパスを京丹後市網野町に設置し、京丹後市の企業や市民の方々と様々な分野で交流しています。

下請け部品加工が大半を占める丹後の機械金属業においては、平成20年秋の「リーマン・ショック」以来の景気低迷は、機械加工の受注量の減少に大きく影響しています。こうした中で、高精度・高品質な加工やコスト削減は言うまでもなく、部品加工から一歩進んだ独自製品設計・新技術開発による高付加価値化、地域内の関連企業のネットワーク化によるユニット受注や新分野進出など新たな取組がますます重要となってきています。そのためにも、新事業展開への支援、将来を担うものづくり人材の育成、小規模事業者のスキルアップ支援、また、製品化を進める上で必要不可欠な企画力・開発力等ものづくり力向上を図る取組が求められています。

### (2) 織物業

丹後地域は、2020年には創業300年を迎える「丹後ちりめん」の産地として知られ、織物業が基幹産業の一つとして地域経済を支えてきたところであり、丹後織物産地の生糸消費量は、全国の約3割を占めるなど国内の絹織物産地としては、全国一の規模で、特に白生地織物の生産高は国内生産量の約6割を占めています。

消費者の生活スタイルが多様化する中での和装需要の減少や外国産製品の輸入などにより、丹後ちりめん（白生地）の年間生産量は昭和48年の1000万反をピークに、平成28年には約31万反となるなど厳しい経営環境が続いています。一方で、

「半製品（白生地）産地であり、完成品や新商品の開発力・企画力に乏しいこと」

「消費地から遠く、市場ニーズの把握が弱いこと」

「従事者の高齢化、後継者不足、産地内で関連工程を担う企業の確保が困難」などが指摘されており、こうした課題に対応していくことが求められています。



丹後ちりめん